

景観62

シリーズ

市は「住むひとが誇りと愛着を感じ、訪ねるひとの心に残る松江の景観づくり」を推進しています。

『みんなで残したい松江の景観400選集』から
景観審議会が特にお薦めする景観

せんじゅいん 千手院から望む 石橋町の町並み

No. 180

「千手院から見える松江城と石橋町の黒瓦屋根の町並みはとても風情があります」と推薦いただきました。

千手院は、石橋町にある高野山真言宗の寺院です。堀尾吉晴の松江築城にあたり、鬼門封じの寺として富田城下（安来市広瀬町）から移されました。

市の天然記念物に指定されている樹齢200年余の見事なしだれ桜が枝を広げる境内からは市街地が一望できます。真下に広がる石橋町の町並みは、切妻平入り、いぶし瓦の屋根など、伝統的様式を持つ町家が軒を連ね、落ち着いた風情を醸し出しています。

江戸期に酒や醤油の醸造業が栄え、鍛冶屋・大工・左官などの職人が住む町人町として形成された石橋町は、昭和中ごろには豆腐屋・そば屋・畳屋・床屋（理髪店）など多くの商店が並び、住民の生活を支えていました。現在も旧街道沿いを中心に当時の町並みの面影を残しています。

このような景観を守り育みながら次世代に継承するまちづくりを実践するために、今年7月には石橋一区が松江市景観計画重点区域に指定されることとなりました。

城下町松江の面影と受け継がれた歴史・文化を感じる町並みは、住民共有の財産です。



「みんなで残したい松江の景観400選集」は、
市ホームページでご覧いただけます。
【問い合わせ】まちづくり文化財課 ☎55-5387

松江の景観400選

検索